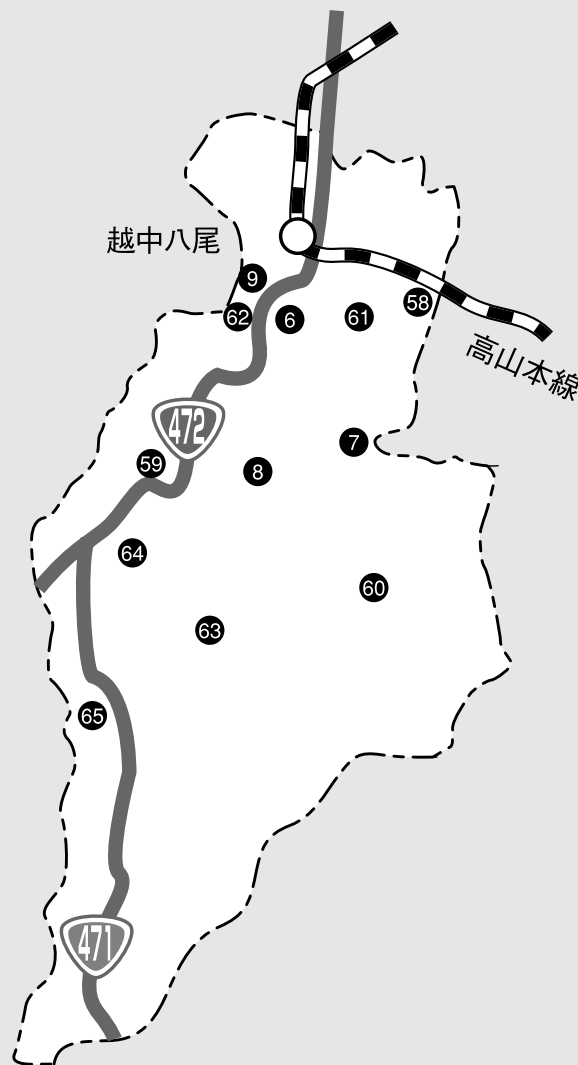


八尾町の文化財

No.
18

1 八尾町の文化財の特徴

八尾町は飛騨山系と富山平野を結ぶ位置にあることから、自然的にも文化的にも飛騨地方の影響が強くみられます。天然記念物には、豊かな自然に育まれた大木や、珍しい植生があります。また化石の産地としても有名です。有形文化財では本法寺の曼荼羅図を始めとした古文書類や富山県最古の獅子頭などがあります。そして江戸時代には富山藩の随一の物資交易市场として繁栄し、その経済力を背景に町人文化が発達しました。絢爛豪華な曳山や、越中三大陶窯の一つである越中丸山焼などが、その代表です。



八尾町記念物地図

「城生城跡」

戦国時代の山城で、町指定史跡に指定されています。斎藤氏の居城で、神通川沿いの富山平野と飛騨を結ぶ要地に位置するため、その支配を巡って幾度も戦いが起こりました。最後は佐々成政の軍勢に攻められて落城しました。現在でも大規模な空堀跡や土塁、郭などが明確に残り、当時をしのばせています。



「天狗平の化石層」

神通川の河岸段丘の、高さ約30mのガケに地層がはっきりと見えます。最も古い層は約1,500万年前のもので、この中には厚さ30~50cmの貝類の化石の層が7~8層、帯状にあります。地層がつくられる様子や、化石の堆積がはっきりと観察できる貴重な場所として町指定天然記念物に指定されています。



「高熊カキ貝化石床」

野積川と仁歩川の合流地点の川の中から、カキ貝の化石の固まりが顔をのぞかせており、流れに沿って約50mほど続いています。化石1個は、長さ30cm、幅15cm、片方の殻の厚さ5~6cmの巨大なアツガキから出来ています。また珪化木(木の化石)も混じっています。約1,600万年前のものと考えられています。





「高熊のさいかち」

サイカチはマメ科の落葉高木で、実や棘は薬用に用いられます。これは2本の老木が1つになって生えており、樹高、幹まわり共にこの種のものでは最大級の大きさを誇ります。樹齢は300年を超え、八尾の町が造られた頃からこの町を見守ってきました。県指定天然記念物に指定されています。



「野積の左巻きかや」

個人のお宅の裏山に立っており、木の高さは約19m、幹周りは2.84mで、樹齢は600～700年と推定されています。カヤは県内には自生しておらず、この樹は弘法大師が当地においてに成られ、数珠を安置された箇所にて奇跡的に生えた木といい伝えられています。本樹は葉を付けた茎が交互に反転するツナギガヤ系統で、しかも種子の殻の条線が左巻きなのが珍しいため、県指定天然記念物に指定されています。



「大玉生のかつら」

木の高さは約39m、幹周りは約14mで、樹齢は約700年と推定されています。住吉神社のご神木として大切にされてきました。根元から豊富にわき出る水は、「桂の清水」と呼ばれ、富山の名水100選に選ばれています。

3 八尾町の文化財一覧

番号	指定別	種別	名称	員数	所在地	所有者又は管理者	指定月日
1	国	絵画	絹本著色法華経曼荼羅図	21幅	八尾町 宮ノ腰1580	本法寺	明33.4.7
2	県	彫刻	木造獅子頭	1頭	〃 東町2105-1八尾町おわら資料館	紫野社氏子総代	昭40.10.1
3	〃	工芸品	太刀銘宇多国宗	1口	〃 館本郷342	高野啓良	昭57.1.18
4	〃	古文書	聞名寺文書	95点	〃 今町1662	聞名寺	昭40.10.1
5	〃	有形民俗文化財	八尾町祭礼曳山	6基	〃 八幡社氏子区域(5/3)	八尾町(東町、西町、今町、諏訪町、上新町、下新町)	昭40.1.1
6	〃	天然記念物	八尾諏訪社の大けやき		〃 諏訪町2432	八尾町	〃
7	〃	〃	上黒瀬の大けやき		〃 上黒瀬石田割396	〃	〃
8	〃	〃	野積の左巻きかや		〃 水口1402	吉森行雄	〃
9	〃	〃	高熊のさいかち		〃 高熊	八尾町	昭40.10.1
10	町	絵画	鈴木道栄筆神功皇后之図	1幅	〃 西町	鈴木金次郎	昭39.12.5
11	〃	〃	紺屋春甫筆絵に鷹之図	1幅	〃 東町	橋爪秀夫	〃
12	〃	〃	長谷川等叔筆絵馬	1幅	〃 下新町	八幡社	〃
13	〃	〃	実如上人裏書阿弥陀如来絵像	1幅	〃 谷折	竹原銀松	昭41.11.21
14	〃	彫刻	島地八幡社高麗犬	2軀	〃 島地	島地八幡社	昭31.11.3

15	町	彫刻	御神像(木彫)	2軀	八尾町 島地	島地八幡社	昭41.11.21
16	〃	〃	右大臣像(木彫)	1軀	〃 〃	〃	昭41.11.23
17	〃	〃	左大臣像(木彫)	1軀	〃 〃	〃	〃
18	〃	〃	椿 図 浅彫 欄 間	6	〃 今町	聞名寺	昭41.11.21
19	〃	〃	日蓮上人坐像(木彫)	1軀	〃 東町	江本文子	昭54.12.20
20	〃	〃	横江嘉純作”自像”(ブロンズ)	1軀	〃 福島畑田	八尾町	〃
21	〃	〃	” ” 母子像 ” (〃)	1軀	〃 東町	〃	〃
22	〃	〃	” ” 宇宙の聲 ” (ブロンズ)	1	〃 高善寺	〃	昭62.2.26
23	〃	工芸品	越中丸山焼 赤絵壺ふた付	1	〃 深谷	深山正道	昭38.12.15
24	〃	〃	越中石戸焼 青釉水指	1	〃 〃	〃	〃
25	〃	〃	越中丸山焼 鈴木道栄絵付向付	1	〃 西町	鈴木金次郎	〃
26	〃	〃	越中丸山焼 鈴木道栄絵付歌仙德利	2本	〃 深谷	深山正道	〃
27	〃	〃	越中丸山焼 初代作瓢形牡丹絵德利	2本	〃 〃	〃	〃
28	〃	〃	越中石戸焼 桃紅釉葉窯変六角鉢	1	〃 石戸	横江弘一	〃
29	〃	〃	越中石戸焼 辰砂釉葉窯変飾皿	1	〃 〃	〃	〃
30	〃	〃	越中石戸焼 金彩釉壺茶入	1	〃 〃	〃	〃
31	〃	〃	越中石戸焼 金彩釉抹茶々碗	1	〃 〃	〃	〃
32	〃	〃	越中丸山焼 湯呑(天保8年作)	1	〃 丸山	山岸信吉	〃
33	〃	〃	越中丸山焼 菓子鉢(絵牡丹に蝶)	1	〃 〃	〃	〃
34	〃	〃	越中丸山焼 窯跡出土陶磁片集	小片20点	〃 〃	〃	〃
35	〃	〃	越中丸山焼 色絵牡丹文八角隅入鉢	5	〃 東町	八尾町	〃
36	〃	〃	越中丸山焼 赤絵香炉	1	〃 〃	江本文子	昭41.11.21
37	〃	〃	越中丸山焼 筆筒	1	〃 西町	富士原宗彦	〃
38	〃	書跡工芸	絹本着色法華経曼荼羅絵図古表具類一切(裏書、軸木、表飾布)	1	〃 宮ノ腰	本法寺	〃
39	〃	古文書	聞名寺古文書	62点	〃 今町	聞名寺	昭41.11.21
40	〃	〃	屏風	1	〃 黒田	尾畑弘一	昭36.7.8
41	〃	〃	村御印	1	〃 井田	新村四郎	昭39.12.5
42	〃	〃	〃	1	〃 谷折	竹原銀松	昭41.11.21
43	〃	〃	〃	1	〃 小長谷	小長谷集落総代	昭39.12.5
44	〃	〃	〃	1	〃 乗嶺	平野正治	〃
45	〃	〃	寺領寄進状(前田利次印)	1	〃 宮ノ腰	本法寺	〃
46	〃	書跡	摩島松南筆書幅	3	〃 東町	摩島廣次	〃
47	〃	〃	摩島松南書幅	1	〃 八東町	長谷川功	〃
48	〃	〃	李唐筆書幅	1	〃 東町	八尾町	昭39.12.5
49	〃	〃	摩島松南筆書幅	1	〃 西町	福島順二	昭39.11.7
50	〃	〃	摩島松南筆書巻物	1	〃 東町	八尾町	昭39.12.5
51	〃	〃	勸学巧便筆書双幅	2	〃 下新町	茗原忠夫	〃
52	〃	〃	〃書幅	1	〃 茗ヶ原	蓮沢淳雄	昭41.11.21
53	〃	史跡	越中丸山焼陶窯跡	1	〃 丸山	山岸信吉	昭36.7.8
54	〃	〃	城生城跡	1	〃 城生	村上善 浅井家太郎 田村国男	昭62.11.27
55	〃	〃	主馬ヶ城跡	1	〃 井田、小長谷	井田区長	平2.11.20
56	〃	〃	大道城跡	1	〃 大道	室牧公民館長	〃
57	〃	〃	尾畑城跡	1	〃 倉ヶ谷、小畑、尾畑	仁歩公民館長	〃
58	〃	天然記念物	天狗平の化石層	〃	〃 城生	国際電気(株)	昭28.12.1
59	〃	〃	つなぎがや	1	〃 平沢	西村英隆	昭32.11.1
60	〃	〃	小井波の水芭蕉	〃	〃 小井波	小井波集落	昭36.5.6
61	〃	〃	深谷の湿性植物群	〃	〃 深谷	祇樹寺	昭36.7.8
62	〃	〃	高熊カキ貝化石床	〃	〃 高熊	高熊集落総代	昭37.12.3
63	〃	〃	谷折の一位	1	〃 谷折	竹原銀松	昭47.2.15
64	〃	〃	大玉生のかつら	1	〃 大玉生301	浦山菊太郎	昭62.6.26
65	〃	〃	清水のかつら	1	〃 清水	吉田はつ糸	平2.11.20

4 問い合わせ先等

八尾町教育委員会事務局生涯学習係 TEL 076-454-6555